

西神ニュータウン9条の会 20周年企画

「9条は世界をつなぐパスポート」

…熱い思いを共有できたつどいとなりました…

5月16日の20周年記念のつどいは、とてもいい集会になりました。オープニングアクトの李亜輝&アジサイ合奏団の演奏が素晴らしく、二胡の音色が心に響きました。今、西神のあちらこちらでファンが誕生しています。



伊藤千尋さんのお話は、新聞記者として、現地取材したことや、退職後も現場に足を運び取材をされているので、わかりやすいお話でした。伊藤さんの話の中で印象に残ったのは、「世界の中で、今、悪いことをしているのは、国連加盟193カ国の中でアメリカ・ロシア・イスラエルと3カ国だけですよ。」「ニュージーランドは、国を挙げて、非核の国になる努力をしている。大臣が、原子力潜水艦の寄港反対の抗議船に乗る為にくじ引きをして、勝った人が乗った」「コスタリカは、教育費に国家予算の3割を充てている。コスタリカでは、どうすれば平和を創れるのか、子どもの時から一人ひとりが平和を作り上げていく努力をしている」「世界では市民運動が政治を変えている」「日本でも、原発に反対する運動の成果として、原発推進の2倍で成果を上げていること。その一例として、石川県の珠洲での原発立地反対の運動で、住民たちが大切にされたことは、地域の賛成派を排除しない、敵を作らない運動をしていたことなど工夫がたくさんある」伊藤さんの具体的で説得力のあるお話は、80分続き、参加者が聞き入っていました。

今、高市政権の改憲の動きが加速する中で、若い人たちが、新しい運動を始めている。世界の市民運動を見ると、15%の人が動けば、「みんな動いている」と見えるそうです。参加者の感想を紹介すると「とても、よかった。元気が出てきた」「豊富なデータでわかりやすかった」「地熱発電の話がよかった」「憲法第9条を、日本人として誇りに思った」「いい勉強になった」「政治を動かすのは市民運動」「楽しくないと発展しない」「まず、3%の仲間を作ろう」と生き生きした言葉で書かれてありました。ニュージーランドで非核の運動を始めたのは、一人の女性。ベルリンの壁の崩壊のきっかけは、数人の若者たちだという伊藤さんのお話がありました。私たちが平和を作っていく努力を始めよう。一人ひとりが力を持っている。参加者から熱い思いを感じた20周年記念の集会でした。参加数は223名でした。

御礼 当日参加された方々から86,911円もの多くの募金が寄せられました。ご厚意に深く感謝申し上げます。

(狩場台 角屋克子)

◆ 6月のつどい 6月21日(日)

西区文化センター2階 第1会議室 14:00~16:00

「言語教育から平和を考える」 講師 三好直美さん(フランス在住)

※詳しくはチラシをご覧ください



Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No! 九条 壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は2026年7月1日(水)16:00~17:00

5.3 兵庫憲法集会が開催

...小雨の中6000人が参加

5月3日神戸みなとのもり公園で兵庫憲法集会が開催された。主催は「総がかり行動兵庫」。県内の30団体を超す9条の会や労組、市民運動など諸団体、個人など6000人(主催者発表)が小雨の中参加した。

冒頭羽柴弁護士は、高市自民・維新政権が強行に進める軍事拡大、武器輸出の解禁やスパイ防止法など「戦争をする国」に反対し「戦争をしない、戦争させない、9条壊すな」と述べ、戦争は秘密から始まると挨拶した。

メインスピーカーは井上つぐみさん。2000年広島生まれ 18代高校生平和大使を経て被爆体験伝承医師として被爆者の声と原爆孤児の証言活動などを紹介した。雨のためデモは中止となったが世界で戦乱が続くなか日本が戦争危機にある現実強い危機感を感じさせる集会となった。

最後に28代高校生平和大使4人が憲法アピールを呼びかけた。

抜粋「未来の子どもたちに戦争のない世界を」—膨大な軍事費用をかけて周辺国に恐怖を与えるより、憲法9条を守り、戦争をしない国だという安心を供与することが戦争を避ける最も有効な手立てです。抑止力強化のため軍拡競争に走った国の82%が戦争をしています。戦争になって初めて抑止力が破綻したことが分かるのです。核抑止の破綻は世界と平和が死ぬときです。未来の子どもたちに平和をつなぎ戦争のない世界を届けましょう—

西神ニュータウン9条の会は12名が参加した。

(春日台・大西)

お題 更衣(ころもがえ)

軍服を ポロシャツにする 更衣 (骨歩)

自由題

ほんとうに 儲かりまっか 武器商売 (重工株主)
ポチだって 戦争やめろ 言えるはず (伝伝)

7月のお題は「陰」(かげ)

y-onishi@live.jp

投句をお待ちしています。

イチの日行動で

シール投票を始めて

2014年7月1日に安倍内閣は、集団的自衛権を容認する安保法制(戦争法)の閣議決定を行いました。西神ニュータウン9条の会として何かできないかと話し合い、毎月1日、駅前でアピールすることを決めました。安倍内閣は2015年9月19日、戦争法を強行に成立させましたが、引き続きイチの日行動で「能登半島地震の募金活動」「ウクライナ戦争反対」等タイムリーなアピールを行っています。最近では高市首相の憲法改正への発言で「あなたは憲法9条(戦争放棄)を変更することにどう思いますか?」を問うシール投票も行いました。

シール投票は、ハードルが低くて参加しやすいのかもしれませんが。

高校生たちも「なに、なに?」とゲーム感覚で寄って来ても、真剣に話を聞いてくれます。シール投票をきっかけに憲法について考える機会になってくれたら、うれしい限り。

5月のイチの日行動では、若い男性が「チラシを下さい」と近づいて来られて話がはずみました。小学生の男の子を持つ彼は、今の情勢に危険を感じ、息子さんの将来に強い不安を抱いていて、何かをしないとイケないと、夫婦で話し合っていたそうです。



「憲法9条を守る活動をしてくれてありがとう」と握手を求められました。私たちは大いに励まされ、元気をもらいました。

そしてこれからも、地域に出て対話し、宣伝、署名、シール投票等の活動を広げていくことの大切さを学びました。(T♥Ky★)

#ママ戦争止めてくるわ!
憲法9条(戦争放棄)を
変更することに



2026年6月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク

